

新刊案内

2019年6月～2020年10月
刊行書籍



Shinmensha

株式会社 新典社

学会員限定 新刊特別割引販売ご注文について

特別割引販売期間	2021 年 1 月末日まで
割引価格	全品表示価格より 2 割引
送料	発送は日本国内のみ、送料は全国一律で 650 円 (税抜)
お支払い方法	書籍発送時に郵便局の払込取扱票を同封いたします。 また、書類に銀行の振込先も記載いたしますので、 ご都合のよろしい方法でお支払い下さい。 振り込み手数料は、ご負担下さい。

ご注文方法

ホームページ：お問い合わせ→学会会員様注文用
メール：info@shintensha.co.jp
FAX：03-3233-8053
郵送：101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-44-11

お問い合わせ

メール：info@shintensha.co.jp
FAX：03-3233-8053
郵送：101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-44-11

ご注文時の注意点 ※ 必ずご確認ください

- ・ 書名・部数・所属学会名、公費・私費の区別をお知らせ下さい。
- ・ 公費注文の場合、書類の宛名、書類の必要枚数、日付の有無、代表者印の有無、送料の記載方法（書籍代に含めた方がよい）をお知らせ下さい。
- ・ 送付先（郵便番号・住所・電話・氏名）をお知らせ下さい。
- ・ 既刊書籍のご注文も特別割引にて承ります。新典社ホームページで書籍情報の確認、図書目録の閲覧・ダウンロードが可能ですので、ご確認の上、お問い合わせ下さい。

新典社 WEB サイト <https://shintensha.co.jp/>



古代中世文学論考 第39集 古代中世文学論考刊行会 編
「兎道のみやこ」考 土佐秀里／藤花礼讃 坏美奈子／『枕草子』「大進生昌が家に」章段における「于定国がこと」 佐藤有貴／『源氏物語』における例外的「きよら／きよげ」の一考察 深田弥生／架蔵『源氏物語』帚木卷断簡について 仁平道明／『中納言俊忠卿集』の構想 穴井潤／中世文学における「蘇迷廬」と「孝」 趙秀全

ISBN978-4-7879-3539-7 A5判上製 288頁 6100円



古代中世文学論考 第40集 古代中世文学論考刊行会 編
『日本書紀』における思邦歌の位置づけ 小野諒巳／『源氏物語』真木柱巻の「見はつ」 箆尾知佳／皇女たちの懊悩と後悔の貴公子 前川暁／加賀文庫蔵写本『方丈記流水抄』考 岡山高博／センチュリー文化財団蔵（斯道文庫寄託）本からみる『平治物語絵巻』「六波羅合戦巻」の展開 滝澤みか／自己表象としての雁 草野勝／諏訪市博物館蔵『諏訪講之式』解題・翻刻・影印 間枝遼太郎／松井幸隆編『三玉和歌集類題』の撰集資料の調査報告 三村晃功／『天正二十年 聚楽第行幸記』解題・翻刻 竹内洪介

ISBN978-4-7879-3540-3 A5判上製 320頁 6400円



古代中世文学論考 第41集 古代中世文学論考刊行会 編
諸書引用の『先代旧事本紀』 松本弘毅／“歴史叙述”として読む漢文伝 河野友哉／『蜻蛉日記』上巻後半部の始発から歌との別れへ 堤和博／平中の物語と『源氏物語』との相互影響関係 伊勢光／若紫巻「北山のなにがし寺」のモデル案 加藤伸江／杯中の月かげ 坏美奈子／『四条宮主殿集』の寛子と主殿 牛山睦子／『太閤真蹟記』異本系統考 竹内洪介

ISBN978-4-7879-3541-0 A5判上製 280頁 6100円



古代中世文学論考 第42集 古代中世文学論考刊行会 編
『先代旧事本紀』における石上神宮の位置 間枝遼太郎／『うつほ物語』忠こそ巻の継母子譚の構造 張可勝／杯中の月かげ 坏美奈子／『擲金抄』所収「讃十斎仏」詩句考 李筱硯／西行『山家心中集』考 穴井潤／惟明親王の『正治初度百首』雑歌考 北原沙友里／日蓮の龍口靈驗譚について 丹治正弘

ISBN978-4-7879-3542-7 A5判上製 280頁 6100円



伊勢物語 色好みの享受史 瀬尾博之 著
第一部 『伊勢物語』注釈史における主人公像 『伊勢物語愚見抄』から宗祇・三条西家流注釈書へ／『伊勢物語』注釈史における〈憐愍する業平〉の変遷／『伊勢物語集注』について／堂上の『伊勢物語』解釈／『勢語臆断』における業平像／『伊勢物語古意』における業平像／『伊勢物語新釈』の注釈態度／『伊勢物語』注釈史における人物像／第二部 『伊勢物語』と物語的私家集 物語的私家集とは何か／『元良親王集』についての一考察／『一条摂政御集』の物語性／『敦忠集』の物語性／『伊勢物語』の人物像と物語的私家集
新典社研究叢書330 ISBN978-4-7879-4330-9 A5判上製 352頁 10000円





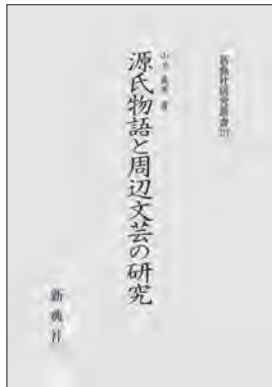
王朝物語の表現生成 ―― 源氏物語と周辺の文学

末澤明子 著

I 物語と和歌 和歌の解釈／引歌攷1・2／幻巻の哀傷と述懐／他／II 物語に於ける見ること・聞くこと 物語の主人公／物語に於ける「声」の問題／『狭衣物語』の「声」／他／III 品々の狭間の物語 明石君をめぐる用語について／「なかなか」に関する異同と明石君／大堰山荘の強飯／『源氏物語』に於ける「うのはし」と梗概書／他／IV 『源氏物語』の飾りと隔て 『源氏物語』の中の屏風をめぐって／水辺の追憶／『源氏物語』のガラス／他

新典社研究叢書315 ISBN978-4-7879-4315-6 A5判上製 480頁 14000円

書籍詳細はこちら



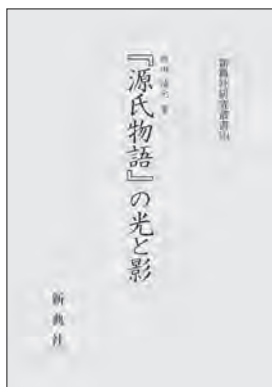
源氏物語と周辺文芸の研究

山上義実 著

第一章 『源氏物語』の主題と構想 『源氏物語』の構想に関する考察／『源氏物語』の世界／王朝時代における愛のかたち／第二章 『源氏物語』に関する諸論 式部卿宮に関する試論／朱雀院の人物像／夕霧の物語に関する試論／夕霧の巻の本文解釈をめぐって／幻の巻における光源氏像をめぐって／他／第三章 周辺文芸に関する諸論 『伊勢物語』における女性たち／『和泉式部日記』における仏教／『和泉式部日記』における自然／他

新典社研究叢書317 ISBN978-4-7879-4317-0 A5判上製 400頁 11600円

書籍詳細はこちら



『源氏物語』の光と影

西田禎元 著

第一編 主題と構想 愛と求道の物語／罪と出家／相聞譚の主人公たち／挽歌の主人公たち／第二編 詠歌の構造 「紫上系」物語の詠歌／「玉鬘系」物語の詠歌／物語第二部の詠歌／「宇治十帖」物語の詠歌／第三編 素材と典拠 主人公たちの物語と中国の故事～男性編・女性編～／『白氏文集』「新楽府」をめぐって／第四編 享受と影響 『無名草子』の『源氏物語』論／『伊勢源氏十二番女合』考／上田秋成の「秋山記」／与謝野晶子の「源氏物語礼讃」歌

新典社研究叢書324 ISBN978-4-7879-4324-8 A5判上製 496頁 14800円

書籍詳細はこちら



源氏物語〈読み〉の交響Ⅲ 源氏物語を読む会 編

I ことば・表現との交響／II 物語史との交響／III 和歌・漢詩文との交響／IV 神話・歴史との交響／V 文化・思想との交響
(執筆者：室城秀之・松山典正・松本美耶・竹田由花子・武藤那賀子・富澤萌未・池田大輔・落谷雄輝・伊勢光・毛利香奈子・八島由香・張培華・草場英智・布村浩一・佐藤信一・三村友希・笹生美貴子・池間里代子・館入靖枝・本橋裕美・中村成里・桜井宏徳・小笠原愛子・青木慎一・阿部好臣)

新典社研究叢書325 ISBN978-4-7879-4325-5 A5判上製 736頁 21400円

書籍詳細はこちら



『源氏物語』庭と邸宅 ―― 想定配置図私案 ――

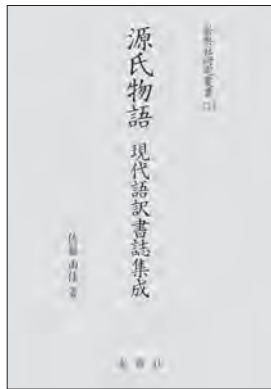
加藤伸江 著

第一編 六条院の庭の想定 明石の御方の町に池はあったか／春の町と秋の町の池の差異／秋の町の滝についての考察／他／第二編 六条院の邸宅の想定 儀式における六条院の入口／六条院の馬場殿の規模／妻戸の間と隅の間の相違／若宮誕生後六日目の移動／他／第三編 周辺地（須磨・宇治）の想定 茅屋は源氏の造営か／他／付説 六条院に影響を与えた河原院の池とは／他

新典社研究叢書329 ISBN978-4-7879-4329-3 A5判上製 352頁 10200円

書籍詳細はこちら





源氏物語 現代語訳書誌集成

佐藤由佳 著

第一部 〈完訳〉編 與謝野晶子（与謝野晶子）・吉澤義則・谷崎潤一郎・他19／第二部 〈全訳〉編 窪田空穂・與謝野晶子・沼澤龍雄・他3／第三部 〈抄訳〉編 宮田和一郎・舟橋聖一・規工川佑輔・他2／第四部 〈意訳〉編 吉井勇・鈴木正彦・河原萬吉・和田萬吉・他17／第五部 〈翻案〉編 吉屋信子・川口松太郎・田辺聖子・他8／第六部 〈その他〉編 時海結衣・佐復秀樹・毬矢まりえ・森山恵
＊源氏物語の現代語訳本について、書誌を集成する。

新典社研究叢書 331 ISBN978-4-7879-4331-6 A5判上製 328頁 9600円

書籍詳細はこちら



蜻蛉日記上巻前半部研究

堤和博 著

第一章 兼家からの求婚場面、「序段」（12番歌）／第二章 「返し、いと古めきたり」考（1920番歌）／第三章 兼家の嘘の言い訳を求める道綱母の歌語り享受／第四章 桃の節供の翌日の贈答歌の場面（29～31番歌）／第五章 道綱母と時姫の二組の贈答歌（3435番歌、4142番歌）／第六章 離婚状態になった時の道綱母の歌（40番歌）／他6章
＊道綱母は「和歌を力に生きる」人であった。夫との贈答歌成立への希求をはじめ、歌への信念を指標に、蜻蛉日記上巻前半部を読む。
新典社研究叢書 332 ISBN978-4-7879-4332-3 A5判上製 432頁 12500円

書籍詳細はこちら



和泉式部の方法試論

久保木寿子 著

Ⅰ 和泉式部歌集論 和泉式部の詠歌方法／和泉式部和歌の表現／Ⅱ 『和泉式部日記』論 『和泉式部日記』と和歌／追懐の方法／Ⅲ 初期定数歌論 和泉式部の詠歌環境／初期定数歌の成立と展開／男性百首から女性百首へ／初期定数歌の歌ことば
＊和泉式部の情感豊かな歌が同時に示す、客観表現への志向。そこから和泉式部の詠作における方法意識を見出し、再評価を図る。

新典社研究叢書 319 ISBN978-4-7879-4319-4 A5判上製 616頁 18000円

書籍詳細はこちら



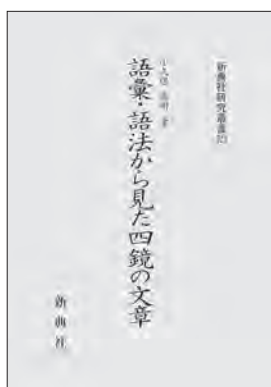
『夜の寝覚』から読む物語文学史

伊勢光 著

第一章 『夜の寝覚』を読む ヒロイン「中の君」という呼称／対の君論（上・下）／『夜の寝覚』の構造／第二章 『夜の寝覚』に影響を与えた物語 『住吉物語』『継母』による騙し／『落窪物語』あこきの役割／『うつほ物語』朱雀帝の葛藤／『源氏物語』『尚侍』であるということ／第三章 『夜の寝覚』が影響を与えた物語 『とりかへばや物語』苦悩する四の君／『松浦宮物語』華陽公主論／『いはでしのぶ』昔をしのぶ一品宮／『石清水物語』伊予守、木幡姫論

新典社研究叢書 318 ISBN978-4-7879-4318-7 A5判上製 400頁 11600円

書籍詳細はこちら



語彙・語法から見た四鏡の文章

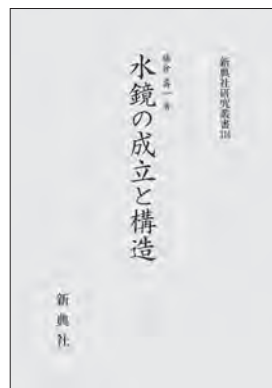
小久保崇明 著

第一章 四鏡の文章 人称代名詞（自称・対称）／係助詞「なむ」をめぐって／引き歌の手法／「すべらぎ」考／第二章 『増鏡』の注釈「なにがし」考／「まろ」考／「たてまつる」考／第三章 『水鏡』の語法 「つけたま□らん」考／付章 専修寺本『水鏡』声点・傍訓総索引／蓬左本『水鏡』傍訓総索引／筆者既発表『大鏡』『水鏡』などの語彙・語法の目次／他

新典社研究叢書 323 ISBN978-4-7879-4323-1 A5判上製 304頁 8700円

書籍詳細はこちら





水鏡の成立と構造

勝倉壽一 著

水鏡における成立の問題／第一章 水鏡の成立と扶桑略記 水鏡「廿八代継体天皇」の問題／水鏡の皇陵名／水鏡の帝紀の記事／水鏡の歴代名／第二章 天皇紀の解釈 水鏡「二代綏靖天皇」の問題／水鏡「十一代垂仁天皇」の解釈／水鏡「十八代履中天皇」の問題／水鏡「廿一代安康天皇」の解釈／水鏡「卅八代廢帝」の解釈／第三章 水鏡と変乱 水鏡の乙巳の変解釈／水鏡の壬申の乱解釈／水鏡の承和の変解釈／第四章 水鏡における評価の問題

新典社研究叢書316 ISBN978-4-7879-4316-3 A5判上製 352頁 10100円

書籍詳細はこちら



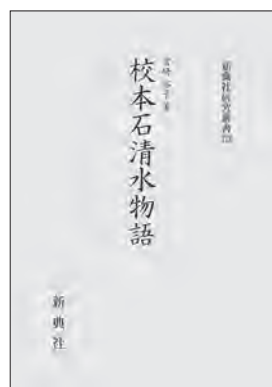
民間説話と『宇治拾遺物語』

廣田收 著

序章 文献説話の話型と表現の歴史性／第一章 『風土記』の在地神話と昔話、そして中世説話／第二章 昔話の話型と語り／第三章 昔話と説話分析／第四章 『宇治拾遺物語』孤立話考／第五章 『今昔物語集』との同一説話考／結章 文学史としての『宇治拾遺物語』

＊宇治拾遺物語は、既存の民間伝承を元に、いかにして独自の新しい「説話」を作り上げたか。話型の比較などを通じて明らかにする。
新典社研究叢書321 ISBN978-4-7879-4321-7 A5判上製 592頁 17200円

書籍詳細はこちら



校本石清水物語

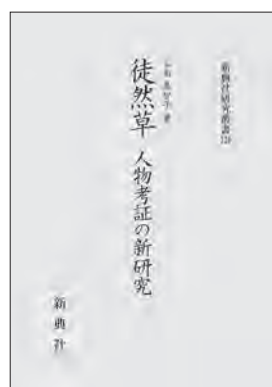
宮崎裕子 著

はしがき／第一章 伝本研究（『石清水物語』の伝本／底本及び校合本の選定／書誌）／第二章 校本／あとがき

＊擬古物語、或いは中世王朝物語と呼ばれる作り物語の一つ、石清水物語。四系統に分類される諸伝本の中から、主要な一二本を選定し、第一系統に属する静嘉堂文庫蔵本を底本として、全系統を対象に校合する。

新典社研究叢書328 ISBN978-4-7879-4328-6 A5判上製 688頁 20500円

書籍詳細はこちら



徒然草 人物考証の新研究

上島眞智子 著

第一章 ト部兼好と周縁の人々 207番「これとしの朝臣」と永嘉門院瑞子／第二章 『兼好法師集』65・66番歌と「従二位公世卿状」について／第三章 『徒然草』の元号の暗示と宮廷社会への視線／第四章 関東の記憶——北条時頼と四条家／第五章 個性的な人物描写と絵入版本に描かれた兼好／第六章 『徒然草』の成立論 第一部中絶と第二部再執筆の要因について／第七章 『兼好法師集』の考察

新典社研究叢書326 ISBN978-4-7879-4326-2 A5判上製 320頁 9300円

書籍詳細はこちら



神仏習合の手法 —— 中世神話から近世神話へ ——

吉田唯 著

第一部 両部神道における愛染明王 東大寺大仏殿内の「両界堂」と伊勢神宮の「両宮」について／『愛染王紹隆記』に記される団体思想について／他／第二部 真宗における神の享受 『諸神本懐集』におけるアマテラス像について／四十八巻本『法然上人行状絵図』における重源の役割について／他／第三部 ホツマ文献における習合思想 ホツマ文献の注釈書における法然と親鸞の神祇記述について／ホツマ文献にみる「都鳥」について

新典社研究叢書322 ISBN978-4-7879-4322-4 A5判上製 416頁 12100円

書籍詳細はこちら



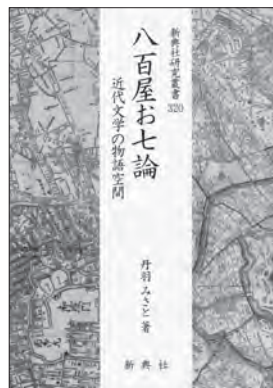


金時習『金鰲新話』と日本 ―― 和刻本と受容 邊恩田 著

第一篇 日本に伝わった『金鰲新話』 金時習と『金鰲新話』／朝鮮刊本『金鰲新話』の旧所蔵者・曲直瀬正琳と蔵書印／第二篇 『金鰲新話』の和刻本 和刻本『金鰲新話』の諸本／和刻本『金鰲新話』版本の特質と成立年代／江戸時代の「書籍目録」に見る和刻本『金鰲新話』／第三篇 『金鰲新話』と日本 紀州藩石橋生庵の『家乗』と朝鮮文学『金鰲新話』／石橋生庵の『家乗』と朝鮮『剪燈新話句解』考

新典社研究叢書 327 ISBN978-4-7879-4327-9 A5判上製 272頁 8200円

書籍詳細はこちら



八百屋お七論 近代文学の物語空間 丹羽みさと 著

序章 八百屋お七諸作品概説／第一章 山崎紫紅「替涙橋」論―場面設定と作劇観―／第二章 岡本綺堂「お七」論―観客の視点―／第三章 真山青果「八百屋お七」論 前編―西鶴「匂い」の発見―／第四章 真山青果「八百屋お七」論 後編―近世資料受容の変遷―／第五章 太宰治「哀蚊」「音について」論―仮託と音響効果―／第六章 江戸川乱歩「押絵と旅する男」論―断片受容と嗜好の重層化―／終章 浸透する八百屋お七／付録 『天和笑委集』の諸本研究

新典社研究叢書 320 ISBN978-4-7879-4320-0 A5判上製 264頁 7700円

書籍詳細はこちら



大伴旅人 「令和」を開いた万葉集の歌人 辰巳正明 著

Ⅰ 大伴旅人と大宰府文学―解題―／Ⅱ 名門大伴氏の出自と旅人の経歴／Ⅲ 大伴旅人の作品を読む／Ⅳ 大伴旅人の漢詩／Ⅴ 大伴旅人とその周辺／Ⅵ 大伴旅人の死／Ⅶ 附1 「烏梅」の歴史／Ⅷ 附2 古代日本元号の根拠一覧（参考資料）

＊新元号の典拠、梅花の宴の主催者である大伴旅人の全作品と関連する人物の作品を読み解き、「令和」を生んだ万葉びとの文学に迫る。

ISBN978-4-7879-7864-6 A5判並製 256頁 2400円

書籍詳細はこちら



元禄名家句集略注 上嶋鬼貫篇

玉城司・竹下義人・木下優 著

表紙解説―鬼貫の「烏帽子付」／上嶋鬼貫略歴―俳人としての生涯と俳句／注釈／凡例／付録（鬼貫周辺の人物・鬼貫句集と伊丹俳書の解題・鬼貫年譜・参考文献）／初句索引／語彙索引

＊元禄俳諧の名家たちを現代語訳・語釈するシリーズ、第五篇は上嶋鬼貫。特徴的な長い前書きも含めてすべて注釈。

ISBN978-4-7879-0647-2 A5判並製 496頁 4500円

書籍詳細はこちら



はじめて学ぶ仏教 インド・中国編 有働智晃 著

古代のインド文化／釈尊の生涯（Ⅰ 釈迦族について／Ⅱ 誕生と幼少期／Ⅲ 家庭と出家／Ⅳ 成道／Ⅴ 各国への布教／Ⅵ 信者と弟子たち／Ⅶ 最後の旅路）／仏典成立と教団の拡散／部派仏教の成立／舍利信仰と仏像の成立／大乘仏教Ⅰ・Ⅱ／中国仏教Ⅰ・Ⅱ

＊インドでの仏教誕生から中国への伝播発展の様子を、僧侶でもある著者が日本の古典・豊富なイラストと共に説く斬新な仏教入門書。

ISBN978-4-7879-7863-9 A5判並製 256頁 1800円

書籍詳細はこちら





世界観光事情 まち歩きを楽しむ

秋山秀一 著

福建土楼——中国／ヒヴァ——ウズベキスタン／サンクトペテルブルク——ロシア／ケベック・シティ——カナダ／グランド・キャニオン——アメリカ合衆国／プロヴディフ——ブルガリア／ヴァレッタ——マルタ共和国／オンフルール——フランス／ポルト——ポルトガル／ハイデルベルク——ドイツ／キヒヌ島——エストニア／他
＊200回以上も海外旅行をした旅の達人が厳選35都市をご案内。絶景や街の歴史、グルメなど、豊富な写真と共に世界一周が楽しめる。

ISBN978-4-7879-7865-3 A5判並製 208頁 1950円

書籍詳細はこちら



入門 平安文学の読み方

保科恵 著

第一講 まずは疑ってみること—古典文学を読むために—／第二講 昔の暦の話—『古今集』はくだらぬ集—／第三講 月と干支の話—平安時代のカレンダー—／第四講 地名の話—平安文学のふるさと—／第五講 本文の話—本当にそう読めるのか—／補講 古典だけに留まらないこと—本文をしっかりと読む—

＊一つの注釈書だけを頼りにせず疑問を持つ・句読点や濁点を見直す…等。具体的な本文や例題で古典を自らの力で読むためのガイド。

新典社選書 96 ISBN978-4-7879-6846-3 B6判並製 208頁 1500円

書籍詳細はこちら



『源氏物語』忘れ得ぬ初恋と懸隔の恋

—— 朝顔の姫君と夕顔の女君 ——

小澤洋子 著

第一章 平安京における条坊図 一条大路北と五条の辺り／第二章 朝顔の姫君と光源氏／第三章 夕顔の女君と光源氏／第四章 結び

＊源氏物語に登場する女性の中でも対照的な呼称と境遇を持つ姫君、朝顔・夕顔について、作者は植物的特性も踏まえて、どのように描き、物語を構成したのか、本文に即しつつ明らかにする。

新典社選書 93 ISBN978-4-7879-6843-2 B6判並製 240頁 1700円

書籍詳細はこちら



百人一首を読み直す2 —— 言語遊戯に注目して ——

吉海直人 著

第一章 天智天皇「秋の田の」歌（一番）を読み解く／第二章 「白妙の」は枕詞か／第三章 柿本人丸歌（三番）の「ひとりかも寝ん」の解釈／第四章 柿本人丸歌（三番）の「長々し」の特殊性／第五章 大伴家持「かささぎの」歌（六番）を待恋として読む／他15章

＊広く親しまれている百人一首も、その歌独自の表現に注目して読み直すと、従来説とは異なる解釈の可能性が見えてくる。和歌の読み解きから、藤原定家の選歌意識にも迫る、好評書籍待望の続編。

新典社選書 97 ISBN978-4-7879-6847-0 B6判並製 312頁 2650円

書籍詳細はこちら



続・能のうた —— 能楽師が読み解く遊楽の物語 ——

鈴木啓吾 著

第1章「翁」／第2章「神」（龍田・竹生島・難波・三輪）／第3章「男」（清経・巴・通盛・頼政）／第4章「女」（井筒・采女・千手・羽衣・藤・身延・吉野静）／第5章「狂」（安宅・梅枝・小塩・鉢木・藤戸・放下僧）／第6章「鬼」（熊坂・善界・融・雷電）／第7章「番外」（鈴木三郎重家）

＊能の作者が発想を得た和歌や漢詩をやさしく、ときに大胆に能楽師が解説！待望の第二弾は翁、復曲能・鈴木三郎重家を含む全27曲。

新典社選書 95 ISBN978-4-7879-6845-6 B6判並製 336頁 2700円

書籍詳細はこちら





文体再見

半沢幹一 著

第1章 文体規定／第2章 文即人也／第3章 役割文体／第4章 文体諸相／第5章 文学文体／第6章 文体模倣／第7章 文体教本

＊「文は人なり」という。この「文」は文体のことであるが、文体とはいったい何か。じつは、専門的にも明確に規定されていないのである。その謎を解く一書。

新典社選書 94

ISBN978-4-7879-6844-9 B6判並製 272頁 2000円

書籍詳細はこちら



「令和」から読む万葉集

辰巳正明 著

I 「梅花の歌」の漢文序とその典拠／II 「梅花の歌三十二首」を読む／III なぜ、「梅花」だったのか？／IV 旅人と大宰府の文学／V 元号と東アジア文化

＊改元は、もとは時代の状況を変える国家的な気分転換だった？ 「令和」の典拠となった万葉集の梅花の宴と主催者大伴旅人、元号の歴史をたどることで、新元号の背景と、改元の意義を明らかにする。

新典社新書 78

ISBN978-4-7879-6178-5 新書判並製 128頁 800円

書籍詳細はこちら



平家物語とその周辺 ― 女性たちの物語 ―

濱中修 著

横笛伝承考―法華寺・天野別所―／浄瑠璃姫―矢作宿の神話―／巴の神話学―『源平盛衰記』を中心に―／千手前と重衡／建礼門院妙音菩薩考

＊源平の争乱を扱う物語の中で、波乱に満ちた生涯が語られる五人の女性たち。その物語を追うことで、関わりある武将の知られざる一面や中世の人々が女性に抱いていた宗教的幻想をも明らかにする。

新典社新書 79

ISBN978-4-7879-6179-2 新書判並製 160頁 1000円

書籍詳細はこちら



向田邦子の末尾文トランプ

半沢幹一 著

小説編 写真機のシャッターがおりにように、庭が急に闇になった。(かわうそ)・庄治は坂の途中で立ち止り、指先でポケットの小銭を探した。(だらだら坂)・ノックはまだ続いている。(マンハッタン)・他／エッセイ編 それが父の詫び状であった。(父の詫び状)・写さなかったカメラのせい、バッグが行きよりも重いように思えた。(記念写真)・他
＊向田邦子の短編小説と『父の詫び状』所収エッセイから末尾文を引用し、しめくくりの意図を解説。読者に「カタルシス」を感じさせると評価の高い、向田邦子の末尾文がこの一冊で凝縮して味わえる。

新典社新書 80

ISBN978-4-7879-6180-8 新書判並製 160頁 1000円

書籍詳細はこちら



藤沢周平 とどめの一文

半沢幹一 著

おしのの、短い旅は終わっていた。(暗い縄)・お吉はつぶやいたが、不意に自分も掌で顔を覆った。(父と呼べ)・薄闇の中にいる男とは、遠い昔に別れていたのだ、とも思った。(旅の誘い)・耳に轟いて、題目の音が続いていた。(穴熊)・達平は、まだ頭が痛かった。(拐し)・他

＊藤沢周平の時代小説より「一文一段落」でしめくくられる73作品を紹介。主に登場人物を描写し、鮮やかな幕切れを演出する末尾の一文から、藤沢作品とそこに描かれたひとびとの魅力を解説する。

新典社新書 81

ISBN978-4-7879-6181-5 新書判並製 160頁 1000円

書籍詳細はこちら





新 うたの神話学

福寛美 著

月光／私とワルツを／残酷な天使のテーゼ／魂のルフラン／異邦人—シルクロードのテーマ—／天界／さくら／夏の終わり／ワダツミの木／君ヲ想フ／月のしずく／泪月—oboro—／ナライブサン／ロストレター 〈K氏へ〉
＊名曲・ヒット曲の中には、論理的ではないが、聴く者の印象に残るフレーズがしばしば含まれる。歌詞を神話学的に読み解くことにより、歌が持つ日本の神話的イメージの一端を明らかにする。

ISBN978-4-7879-7926-1 新書判並製 128頁 1100円

書籍詳細はこちら



親と子の人間関係 ― 幼児より青少年まで ― 中田雅敏 著

第一章 幼児期から感性の育成を／第二章 親子の関係性の大切さ／第三章 責任感と自分で考える力／第四章 周囲の働きかけと社会性／第五章 続く「いじめ」はどうすればなくせるのか

＊人間が成長していく過程にあって、親子関係は極めて重要な要素である。望ましい親子関係の作り方や、起こりうる「いじめ」への対処法など、家庭内で親は子にどう向き合うべきかを考える一書。

ISBN978-4-7879-7925-4 新書判並製 176頁 1000円

書籍詳細はこちら



注文書

書籍名

冊

書籍名

冊

書籍名

冊

私費・公費

書類の宛名【公費】

請求書

枚

見積書

枚

納品書

枚

日付の有無

有・無

代表者印の有無

有・無

送料の記載方法

書籍代に含む・書籍代に含めない

所属学会名

送付先住所

〒

送付先電話番号

送付先受取人名